

[No. 9]

次の 1 ～ 5 の文は、準天頂衛星などについて述べたものである。明らかに間違っているものはどれか。次の 1 ～ 5 の中から選べ。

1. 準天頂衛星は、日本において高仰角に位置する時間が長い。このため、準天頂衛星は、衛星測位の利用可能なエリアや時間帯を広げる効果がある。
2. 準天頂衛星は、約 24 時間ごとにほぼ同じ配置を取る。
3. 準天頂衛星は、少なくとも 1 機の衛星が天頂方向に見えるため、他の衛星と組み合わせて良好な衛星配置を維持しやすくなり、測量精度の向上が期待できる。
4. 準天頂衛星には、地表に投影すると数字の 8 の字のような軌跡を描く衛星と、ほぼ同じ位置に留まって見える衛星がある。
5. 公共測量において、スタティック法による 10 km 以上の観測を行う場合、観測に必要な衛星数は GPS 衛星と準天頂衛星を合わせて最小で 4 衛星である。